2010年(平成22年)2月22日(月曜日)

乾燥野菜を途上国へ

農経新聞

株式会社 農経新聞社
東京都品川区西五反田
1-27-6 市原ビル9F
(郵便番号 141-0031)
電話 東京 (03)3491-0360
FAX (03)3491-0526
ホームページ
http://www.nokei.jp
郵便振替 00180-8-156982

日本リユースシステム

規格外品を一括回収
リサイクルショップで販売も

生産者の頭を悩ませるのが規格外や過剰生産となった青果物の「処理」だろう。野菜では生産量の一七%が規格外や過剰生産で出荷されず(平成19年「野菜生産出荷統計」)、大半が「廃棄」されている。こうした青果物をワンストップで引き取り「リユース」「リサイクル」を図ろうとするのが、中古品や再資源原料等を開発途上国などに販売する日本リユースシステム(東京都港区)だ。山田正人社長は、中古品や廃棄物などの回収から輸出・販売までの物流網とノウハウが食の分野にも活用できることに着目。新事業では、生産者から規格外品などを一括して引き取り、直売所やリサイクルショップで販売するとともに、乾燥野菜に加工して開発途上国へ輸出・販売する。現在、年内のスタートに向け準備中だ。

日本リユースシステムは平成十七年に設立。総合物流業者と中古品輸出専門商社と提携することで、中古品や廃棄物などの回収から国内外での販売までを行う。とくに、独自のサービスである「ワンコイン・エコ」「廃棄物処理ワンストップサービス」はリサイクル業界をはじめ引越業界、物流業界でも注目されている。

「食にも"リユース"と"リサイクル"の発想が必要」と山田社長

前者は、不要となった古着を客が一袋五〇〇円の処理費用を支払うことでリサイクルショップや引越業者に引き取ってもらうもの。処理費用の一部をワクチン募金に、残りを古着の輸出・輸送費用に充てる。輸送コストを低減できるため、古着を開発途上国で安価に販売することが可能となる。後者は中古品や廃棄物等を一括で回収、海外でリユース、リサイクルできる製品・素材を選別し、抽出有価物を販売する—という流れ。最終廃棄量を最小限に抑えることができ、排出元にとっても廃棄コストが削減できる。これらは「当社は〝捨てさせない屋〟」(山田社長)という通り、わが国のだぶついた「モノ」を有効活用する取り組みだ。

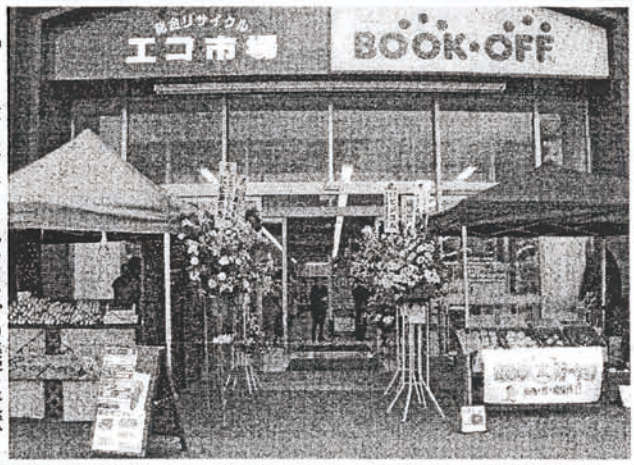
同社では、「捨てさせない」しくみを食の分野にも応用していく。まずは「廃棄」の問題を抱える青果物に着目。規格外や過剰生産となった青果物をワンストップで引き取り、一部を直売所やリサイクルショップの店頭で販売(リユース)し、残りを乾燥野菜に加工(リサイクル)して開発途上国へ輸出・販売するというビジネスモデルだ。すでに、一括回収、直売所での販売等については東京近県の産地と協議を進めている。「農作物の廃棄にもコストがかかる。それがなくなるだけでも生産者にはメリットはある」という。

回収した青果物は地元直売所で販売するほか、リサイクルショップでも扱う。同社では以前から規格外青果物の販売チャネルとしてリサイクルショップに着目していた。「わが国には二万軒以上あるとされている。これはもう、一大販路といってもいい」。なお、同社では、関東圏でも三〇〇店舗と提携関係にある。

リサイクルショップでの販売ノウハウを得るため、福島県内数店舗の店頭に、規格外品を販売する「ECO(エコ)食ステーション」を設置。利益は多くはないものの集客には効果があり、ショップ側の評価は上々。ECO食での販売を通じ、リサイクルショップの客は「多少のキズは気にしないどころか、形の変わっているもののほうが喜ばれる。他店より高くても購入することもある」ことがわかった。今後は規格外品の形状を活かした食べ方も提案し、売上増加につなげていく。

国内で販売しない分は乾燥野菜に加工し、開発途上国に輸出・販売する。わが国では廃棄するほど青果物が余っているが、とくに紛争地域では野菜も食料も不自由している状況にある。そこで軽量で保存がきき、微量栄養素も含む乾燥野菜を安価で提供していく考え。今後はテスト輸出を行い販売価格等について検討していく。

言うまでもなく野菜は価格が安く、ましてや乾燥加工したものを輸出し安価で販売するとなると、採算に乗るのかという懸念がある。とくに物流面がネックだ。その点、同社の場合は輸出先が再生資源の輸出先と一致しており、すでに物流インフラが整っているのが強み。これらを一緒に送ることでコストを抑え、利益を生み出していく。「ビジネスとしてだけではなく、人道的にも意義のあること」と山田社長。規格外や過剰生産青果物の新たな活用法として注目されそうだ。



「ECO食」はリサイクルショップの集客に貢献

全国へ出荷可能!
築地王推奨
築地のおいしいバナナ
食の原点、築地が贈る
バナナ本来の鮮度と味を大切にじっくり時間をかけて育てました。
(原産国:フィリピン)
販売者 東京中央青果 TEL 03-6226-6850
東京都中央区築地4-2-11 www.tsukiji-banana.com